

## 20万人達成記念報告 ～桜島国際火山砂防センター～

発信元

大隅河川国道事務所  
桜島砂防出張所

平成27年4月10日(金)桜島国際火山砂防センターの入館者が20万人を達成しました。

20万人達成を記念してゴールデンウィーク期間中(5/2～6)に入館されたお子様に桜島の火山、砂防、歴史がよくわかる「桜島火山砂防Q&A」をプレゼントしました。

【砂防センターと噴火を見上げる小学生】  
(桜島島内の小中学生はヘルメットをかぶって登下校しています。)

ゴールデンウィーク期間中(5/2～6)の入館者数は285名(うち子供68名)で、配布した「桜島火山砂防Q&A」は桜島のことがよくわかれると好評でした。



以下の写真はゴールデンウィーク期間中の来館者の様子です。  
(休日は「NPO鹿児島砂防ボランティア協会」の会員が案内しています。)



▲桜島が爆発している時に来館され灰が降っているのに驚き、桜島の爆発・噴火について質問を多くされた。この写真は、センターのスタンプに子供が興味を持ち母子で一緒になって押している様子。



▲親子が、桜島の立体模型を操作しながら、マグマの状況や観測状況などを語らいながら様子を調べている。



▲都城から来られた家族。都城でも桜島の噴火の音、振動がはっきり感じるとのことであった。鹿児島島の親戚に電話して確かめたが、鹿児島では感じてない様子でどうしてだろうかと思議がっていた。



▲床に設置した写真地図で説明を受けている方は、休暇を利用して来館された新聞記者。ボランティア協会員が溶岩の流れを説明している様子。コミュニケーションが広がり、桜島のことについて話す機会ができた。



▲ご家族の方々が桜島紹介ビデオを興味深げに視聴している様子。



▲後ろに見える男性はタクシーの運転手で、話によると、写真に写っている方々は教育者とのこと。桜島の山の形状に興味を持たれていた。またガリーについても興味を持たれていた。

## 案内を行っている「NPO鹿児島砂防ボランティア協会」の感想

- ・雨や降灰にもめげず通過される観光客の多い中、来館された方々には感謝です。
- ・県外からの来館者が殆どであった。
- ・自転車で九州を巡っている方、関西から車で来られた方、祖父母を訪ねる途中に来館された方等多彩の方々が来られた。
- ・活きている山、桜島に驚き、土石流のすさまじさにびっくりされていた。
- ・来館者20万人を記念して配布したQ&Aの冊子については、皆様に喜ばれ、好評であった。
- ・夏休みにはもっと子供が増え、火山を勉強したい方々も増えるのでQ&Aをこの時期も配布体制を整えることが必要と感じた。
- ・子供達には動く遊べる物が無く残念だったのではないか。
- ・来館者に話しかけ、説明あるいは解説すると一気にコミュニケーションが広がった。
- ・両日とも外国人は来なかったが、外国語版のパンフレットも必要。
- ・来館者を通じて火山の不思議、桜島の不思議に応えられる場の必要性を感じた。
- ・桜島はもとより箱根山、御岳山での噴火がある中、来館者は火山について敏感になっているようだった。

### 【ゴールデンウィーク期間中に受けた来館者からの質問】

**Q. 噴石が3合目まで飛んだと報道があるけど3合目はどの辺なの。**

A. 南岳の標高が約1,000mなので3合目は標高300m付近になります。

気象台では昭和火口から1,300~1,800m付近を3合目としています。

立入禁止区域は2合目付近になります。

**Q. 噴火と爆発どう違うの。**

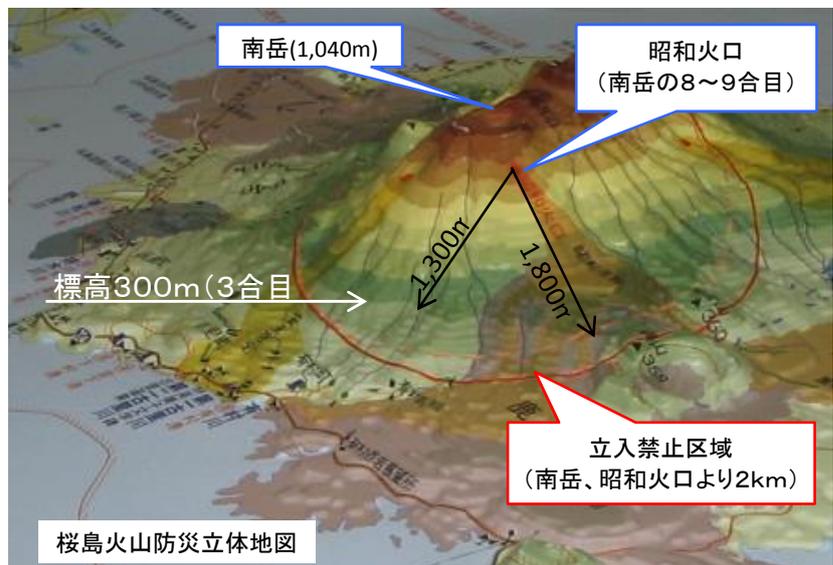
A. 爆発は爆発的噴火のことで噴火の一形式です。桜島では爆発(爆発的噴火)の回数をカウントしています。

(気象台ホームページ資料参照)

今年は5月7日に観測史上最速で爆発回数500回に達しました。

爆発最多回数(996回)を記録した2011年(平成23年)より約3ヶ月早い記録。

5月31日時点の爆発回数は608回です。  
(噴火回数としては1024回です)



「鹿児島気象台ホームページ」より

#### 【噴火】

火山現象として、火口外へ固形物(火山灰、岩塊等)を放出または溶岩を流出する現象です。

桜島では、噴煙量中量以上(概ね噴煙高度1000m以上)の噴火や爆発的な噴火の回数をカウントしています。

#### 【爆発的噴火】

噴火の一形式で、地下の高温や高圧源での内圧が増大して起こり、音響とともにガス、水蒸気、岩石等を放出し、空振を伴う現象です(一般的に爆発と略することが多い)。時に火口や山体を破壊することもあります。

桜島の爆発的噴火は、地震波形、爆発音、空振、噴石飛散の有無で判断しています。

※今後も、桜島(の砂防)情報を積極的に発信して、疑問・質問にも応えて参ります。  
是非、砂防センターや桜島にお越し下さい！